



台風・大雨に備えましょう

大雨や強風により、冠水や道路寸断などの災害が発生する可能性があります。今後の気象情報に十分注意して、被害防止、伝染病の侵入防止に務めましょう。

事前の対策

- 飼料は倉庫・畜舎内に入れ、雨水が被らないようにする。
- 畜舎へ浸水の恐れがある場合の対策を行う。
 - ・排水溝の清掃、設置などで備える。
 - ・堆肥をビニールシートで覆うなど、堆肥流出に注意する。
 - ・家畜の避難場所を確保しておく。
 - ・排水ポンプ等を準備する。
- 停電が想定される地域では、発電機等を準備をする。
- 断水、道路寸断の可能性がある場合には、飲用水や飼料、燃料を確保する。
- 畜舎の損傷、倒壊の恐れがある箇所を確認し、補修して備える。
- 岐阜県や各市町村がHP等で公表している防災ハザードマップを確認し、災害の想定をする。
- 管理者や家畜の避難先・避難経路の検討、被災時の緊急連絡先（市役所、農協、家畜保健衛生所など）を確認する。



引用：気象庁HP

被害拡大防止の対策

- 家畜の健康観察、異常の有無を確認する。
- 天候の回復後、畜舎内・周辺の排水・消毒を行い、疾病の発生防止に努める。
- 畜舎、防鳥ネット等の破損・汚染を確認し、必要に応じて補修・消毒を行う。
- 飲用水や飼料の品質を確認し、品質が悪化している場合は給与を中止する。
- 踏み込み消毒槽は泥・雨水で効果が低減するため、消毒液の交換を行う。

**災害時は人命を最優先にし、
十分な安全確認後に農場の見回りをお願いします。**

家畜に異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします
飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL: 0577-33-1111（内線403） FAX: 0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」
の案内メッセージに従って対応をお願いします。